



長年の労働運動にて培った経験を基に、地域の人や働く者の立場に立ち、国政の場で堂々と発言する堂込議員の姿勢に敬意を表します。

今、国民は政権交代を求めています。イギリスの様に当たり前に「政権交代」が行われる日本をめざし、市民と働く仲間の声を聞きながら、真面目に働く人が報われる公正な社会の実現のため、みんなで力を合わせ、健康に留意して頑張ってください。堂込さんに期待しています。



北朝鮮による拉致被害者 全員救出を求める署名提出



4月1日、首相官邸を訪問、林芳正内閣官房長官兼拉致問題担当大臣に対し、UAゼンセンで集約した署名を提出し、すべての拉致被害者の一刻も早い帰国及び拉致問題の解決を求めました。

財政金融委員会視察 [羽田税関支署・国立印刷局東京工場]



5月16日、羽田税関支署にて、税関行政に関する実情調査を行いました。麻薬犬による水際での取り締まりをはじめ、出入国業務等、安心安全を守るための取組を視察しました。



6月11日、国立印刷局東京工場にて、新日本銀行券の偽造防止技術や製造工程等について視察しました。キャッシュレス決済が進む中での新紙幣発行の影響等今後注視していきます。

国会見学をしませんか？



▲カスミユニオンのみなさん

- 希望の日時(平日)でご相談ください
- 団体・個人を問いません
- 所要時間は約一時間
- バス無料駐車場あり

働く仲間の皆さま
地域で暮らす皆さま
どうぞお気軽に
ご意見をお寄せ
ください！
info@dougomi.jp



堂込まきこ略歴

1975年9月生まれ(48歳)
茨城県阿見町出身 参議院議員(1期)
ジャスコ(現イオンリテール)入社
イオンリテールワークスユニオン中央執行委員
連合茨城執行委員、女性委員会幹事、
UAゼンセン茨城県支部運営評議員を歴任



各種 SNS のご案内



VOL. 17 2024 前期

茨城から日本を笑顔に

堂込まきこ SMILE NEWS

討議資料

発行：笑顔の茨城を創る会
堂込麻紀子茨城事務所 堂込麻紀子国会事務所
〒310-0022 水戸市梅香2-1-39 茨城県労働福祉会館3階 TEL：029-306-6444 FAX：029-231-2617 E-mail：info@dougomi.jp
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館607号室 TEL：03-6550-0607 FAX：03-6551-0607

公式ホームページ
https://dougomi.jp/
SMILE NEWSは
ホームページからもご覧いただけます



日頃のご支援に心より感謝申し上げます。
2022年7月10日参議院議員通常選挙茨城県選挙区において初当選を果たし、7月26日に参議院議員として6年の任期がスタートしてから2年が経ちました。この間、すべての働く者、生活者の代表であるとの想いで、日々活動を行ってまいりましたが、改めて皆さまにいただいた温かいご理解とご支援にお応えすべく、初心を忘れず3年目の議員活動に邁進する決意です。

さて、本年1月から6月まで開会された第213通常国会は、2024年度予算、税制改正、被災者支援や被災地域の復旧・復興を含めた震災対応をはじめ、さまざまな課題に対応するための施策について審議が行われました。しかし、政治とカネの問題に多くの時間が費やされ、成立した政治資金規正法も「改革」にはほど遠いものとなりました。これでは国民の目線に立った政治が行われたとは到底言えず憤りを禁じ得ません。

また、所属する財政金融委員会では、内閣提出法案審議や財政及び金融等に関する調査質疑で、中小企業の賃上げを推進するための施策、女性活躍・男女の賃金格差是正に向けた取組、地方のスタートアップ企業への支援、労働者保護の重要性、金融犯罪の増加を受けての対策強化、キャッシュレス時代における金融教育の在り方等、引き続き働く者、生活者の視点で政府を質してまいりました。

地元茨城県内各地では、連合茨城ならびに構成組織、各自治体・団体、地域の行事にてご挨拶と日頃のご支援に対する感謝を申し上げながら、活動報告や意見交換をさせていただいております。引き続き、皆さまよりご意見を賜る機会をいただければ幸いです。

これからも皆さまとともに支えあい・助け合う社会をつくり、雇用をしっかり守りながら、笑顔あふれる暮らしの実現に向けて、精一杯力を尽くしてまいります。今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

参議院議員 堂込 麻紀子

笑顔あふれる暮らしの実現を！



2月21日 能登半島地震特例法案質疑

能登半島で被災された方々に対し税制面での特例措置を設けた法案審議にて、復旧・復興に向けて補正予算を編成するなど万全な対応を行うよう求めました。鈴木財務大臣は、現時点では補正予算編成が必要と考えていないが、刻一刻と変化する被災地の財政ニーズに対応できるよう予算措置を行う旨の答弁があり、真に必要なところに活用されなければ意味がないこと、被災された自治体職員の皆さんが対応に追われる現地の行政機関への応援体制強化なども必要であることを重ねて訴えました。

3月12日 大臣所信に対する質疑

連合の集計では昨年の賃上げ率は高水準となる一方で中小企業では十分ではなく、中小と大企業の格差が生じてしまったことに触れながら、個人消費を喚起し、賃上げと物価上昇、経済拡大の好循環を達成するためには中小企業の賃上げの実現が不可欠であり、中小企業が十分な経営体制の下で従業員の待遇を改善できるよう政府の積極的な支援の取組を求めました。鈴木財務大臣は、中小企業の賃上げは極めて大切であるとの認識を示し、中小企業向けに5年間の繰り越し控除制度を新設すると述べました。

4月9日 日銀報告に対する質疑

3月に行われた金融政策の見直しについて、これまで日銀関係者は「賃金と物価の好循環が強まることを重視し、春闘の動向を注視する」という慎重な姿勢で判断してきたにも関わらず、中小企業の賃上げ実績を見ることなく見切りをつけてまでこのタイミングで政策を見直したのはなぜかと問いました。植田日銀総裁は過去の中小企業の賃上げパターンや特性、データ情報、ヒアリング情報から判断して、ある程度の確率で大丈夫であろうと判断したと述べるにとどまりました。

5月14日 金商法及び投信法改正案質疑

茨城県において、研究機関、大学等が持つ最先端技術を発掘し、それを生かした事業化プランの作成やベンチャー企業創業・事業化支援プログラム、地域課題解決型の企業支援事業などスタートアップの支援が行われていることを挙げながら、地方のスタートアップ企業等をめぐる資金調達環境の改定・改善への取組について問いました。金融庁担当者より、スタートアップ企業への成長資金の供給を促進することは重要であり、取組を進めていく旨の答弁がありました。

5月28日 財政及び金融等に関する調査質疑

国際通貨基金（IMF）より、日本の女性労働者の多くが非正規雇用やノンキャリアで賃金が低く、スキル開発やキャリアアップの機会が限られており、この「労働市場の二重構造」を解消するよう提言されていることに触れ、現状認識と取組について問いました。厚生労働省担当者は、非正規雇用労働者の処遇改善に向けて、最低賃金の引上げや、同一労働同一賃金の遵守の徹底、能力開発支援などを行い、性別にかかわらず主体的に働き方やキャリアを選択できるよう、雇用環境改善に取り組むと述べました。

6月6日 事業性融資推進法案質疑

本法律案によって創設される「企業価値担保権」について、従来の担保権と比べて担保権者等が強大な影響力を持つおそれがあり、労働者の雇用・労働条件に影響を及ぼす懸念があること、金融審議会のワーキング・グループ報告書でも「労働者保護の観点の重要性」について記載されていることを指摘、政府の認識を質しました。鈴木金融担当大臣は、報告書を踏まえて労働者保護の規定の運用が適切に図られるよう、制度趣旨等を明確にするガイドライン等を公表し、関係者に周知する旨の答弁がありました。



12/16 百里基地航空祭記念祝賀会



12/19 価格転嫁・取引の適正化に関する街宣行動



1/6 阿見町消防出初式



1/7 市二十歳の集い



1/9 第74回千鳥會



2/7 茨城県人会連合会 新年賀詞交歓会



4/13 SAKURAフェスティバル



4/14 連合茨城 土浦地協メーデー



4/15 UAゼンセン茨城県支部 まちづくり委員会



4/27 茨城県中央メーデー



5/3 学校遊具塗装ボランティア



5/23 茨城県退職公務員連盟通常総会



5/24 自治労第44回町村職総決起集会における請願行動



6/5 東京電力労働組合 茨城地区本部第10回定時大会



6/8 UAゼンセン議員団会議



6/9 国分労友会設立50周年記念式典



6/17 全建総連茨城県連 第58回定期大会



6/23 衆議院議員青山やまと 国政報告会



7/3 国道6号バイパス 建設促進期成会総会



7/20 阿見町曙夏祭り

